

第 27 回大分 NST 研究会を終えて

平成 30 年 6 月 2 日の土曜日、大分県は梅雨入りしたにも関わらず、快晴の日となり、
第 27 回大分 NST 研究会を大分市ホルトホールにて無事に開催することができました。
今回は 401 名の方に参加していただき大変ありがとうございました。

さらに会後の懇親会も、42 人の皆さんに参加していただき、大変盛り上がり、藤島先生
も大変喜んでいらっしゃいました。

一般演題は 4 人の先生方に発表していただきました。大分大学医学部附属病院の阿部世
史美先生、地域医療機能推進機構南海医療センターの山畑友美先生、津久見市医師会立津
久見中央病院の川野海来先生、国家公務員共済組合連合会新別府病院の藤田康代先生、い
ずれも臨床の場よりの貴重な経験を発表していただき、ありがとうございました。

国家公務員共済組合連合会新別府病院の田崎先生からは大分県内の活動実態調査アンケ
ートの報告をしていただきました。大分県は全国平均より NST 活動が盛んであることが数
値として証明されました。

特別企画としては畏敬会井野辺病院 院長 井野辺純一先生より「当院の嚥下障害への
取り組み」と題して、現在井野辺病院で行っている、電気刺激などを利用した嚥下のリハ
ビリのお話をしていただきました。

特別講演として社会福祉法人 聖隷福祉事業団 浜松市リハビリテーション病院 病院長

藤島一郎先生に「サルコペニアと嚥下障害」についてをテーマにしてお話しいただきました。先生の講演を聞き、今まで、サルコペニアと廃用症候群の区別をつけずにリハビリ治療を行っていたことを初めて知り、自分の不勉強について反省しています。先生のお話は、分かりやすく、非常に勉強になる内容でした。我々医師だけでなく、看護師、栄養士、リハビリ、薬剤師など広い職種の方々の日々の診療の糧になると思います。

最後になりましたが、事務局を初め、ご協力いただいた協賛の株式会社クリニコの皆様、当院のスタッフの皆様のおかげで無事に本研究会を終えることが出来ましたことに厚く御礼申し上げます。

第 27 回大分 NST 研究会 当番世話人 畏敬会 井野辺病院 副院長 石松俊之